

01 AutoCAD2015の初期画面の構成



- これからAutoCADをはじめの人
- 他のCADから乗り換える人
- あらためてAutoCADの人
- いまさらとおもいながらAutoCADの人

AutoCADの基本の基本的部分を、わかり易く、丁寧に、図表を入れて説明いたします。

AutoCAD2015～2009バージョンでご使用できます。

AutoCAD2015の初期画面を見てください。

それぞれに、「名前」、「呼び方」、「名称」があります。

- ・ヘルプ、他の参考書等を閲覧するとき、これらの「名前」、「呼び方」、「名称」が必ず表示されます。
- ・日常的にAutoCADを起動させると、見ることになる画面ですから、すこしずつ覚えていくことにしましょう。

- アプリケーション メニュー
- クイック アクセス ツールバー
- リボン タブ
- リボン パネル
- 作図領域
- WCS/UCSアイコン
- コマンドウインドウ
- コマンドライン
- ファイル・レイアウトタブ
- アプリケーション ステータス バー
- ナビゲーション バー

—別紙 AutoCAD2015初期画面 構成—参照してください—

・AutoCAD2015から、2014まで使用できた「クラシック画面」が無くなりました。

カスタマイズして使用できますが、Word、Excelはすでにリボン画面です。

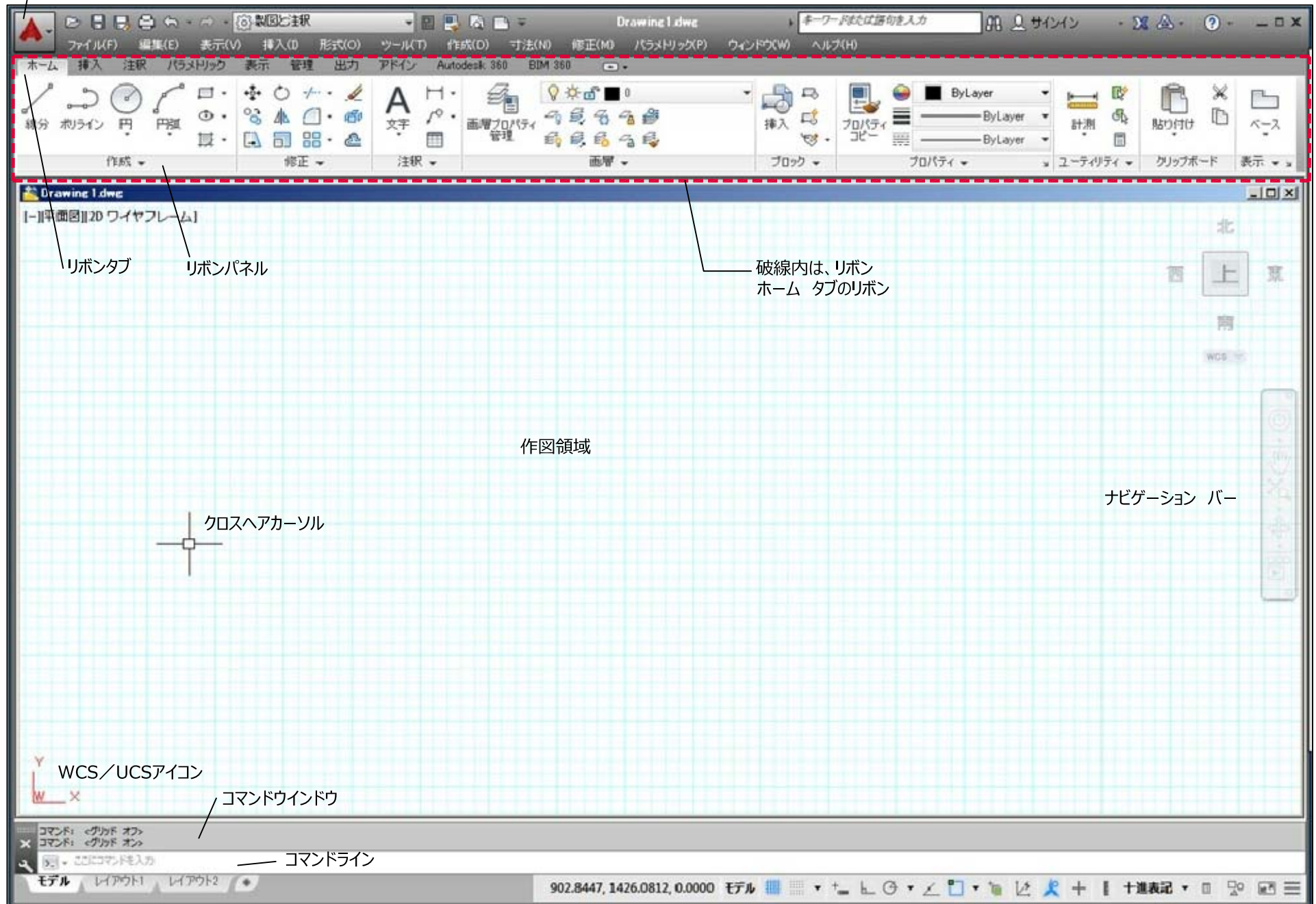
AutoCADでもリボン画面で作図したほうが「OLE機能」利用時にとても便利です。

Windows OS上で動いている、AutoCAD、Word、Excel、PowerPintですから情報データの相互利用ができます。

アプリケーション メニュー

クイック アクセス ツールバー

情報センター



リボンタブ

リボンパネル

破線内は、リボン
ホーム タブのリボン

作図領域

ナビゲーション バー

クロスヘアカーソル

WCS/UCSアイコン

コマンドウィンドウ

コマンドライン

ファイル・レイアウトタブ

アプリケーション ステータス バー

AutoCAD2015 初期画面